

2025 年 6 月 6 日

各 位

会 社 名 マ ク セ ル 株 式 会 社
代 表 者 名 取 締 役 社 長 中 村 啓 次
(コード番号：6810 東証プライム)
問 合 せ 先 コーポレート・コミュニケーション本部
広報・IR 部
(TEL. 03-5715-7061)

ISS 社の議決権行使助言に対する当社の見解について

2025 年 6 月 26 日に開催予定の当社第 79 回定時株主総会の議案「取締役（監査等委員である取締役を除く。）4 名選任の件」の候補者 1 名につき、議決権行使助言会社である Institutional Shareholder Services Inc.（以下「ISS 社」といいます。）が反対行使を推奨する旨のレポートを発行しています。

ISS 社の反対推奨に対する当社の見解を下記のとおり説明させていただきますので、株主の皆さまにおかれましては当該議案へのご理解を賜りますようお願い申し上げます。

1. ISS 社の反対推奨内容

議案：

「取締役（監査等委員である取締役を除く。）4 名選任の件」

候補者番号 1：中村 啓次

反対推奨の理由：

ISS 社は、取締役選任議案について、過去 5 期平均自己資本利益率（ROE）が 5 % を下回り、かつ改善傾向にない（直前会計年度 ROE が 5 % 以上でない）場合、原則として経営トップである取締役への反対行使を推奨することを方針としています。

当社の過去 5 期（2021 年 3 月期から 2025 年 3 月期まで）平均 ROE が 0.8 %、直前会計年度（2025 年 3 月期）ROE が 4.4 % となったことから、ISS 社は、当該方針に基づき当社取締役社長である中村啓次への反対行使を推奨するとの判断に至っています。

2. 当社の見解

当社は、2025 年 4 月 25 日に公表の通り、角形リチウムイオン電池の生産終了に伴い、2025 年 3 月期において営業費用 10 億円、特別退職金を含む特別損失 26 億円を計上しておりますが、これは当社の収益性を高めさらなる成長をめざすための支出であり、この要因を除外しますと、当期の営業利益は再上場以降最高の 103 億円、親会社株主に帰属する当期純利益は 77 億円、ROE は 8.2%となります。

当社としては、事業ポートフォリオ改革を今後も継続するとともに、全固体電池など新事業も含めた積極的な成長投資による収益成長の実現と、株主還元強化による資本効率向上を図ることで、中長期的な企業価値の向上をめざしていきます。

以 上